

「とめよう！改憲 文連の会」は呼びかけます

## 「安保三文書」の閣議決定に反対する声をサークルからあげよう！

私たち「とめよう！改憲 文連の会」は、岸田政権が12月中に閣議決定しようとしている「安保三文書」の策定に反対する声を今こそサークルからあげるべきことをすべてのサークル員のみなさんに呼びかけます。

いま岸田政権は国家安全保障戦略などの「安保三文書」に、中国やロシア、北朝鮮を日米安保にもとづいて「反撃能力」の名のもとに先制攻撃する体制をつくりあげてを明記しようとしています。これは、「戦力不保持、交戦権の否認」をさだめた現行憲法を真っ向から否定し、日本国家を米軍とともに「戦争をやる国」へとつくり変える画歴史的な大攻撃にほかなりません。しかも岸田政権は、これを成し遂げるために軍事費大增額を強行し、その財源を確保するためにさらなる増税を労働者・市民に強制しようとしています。絶対に許せません。

さらに大学で学ぶ私たちにとって問題なのは、日本国家を米軍とともに「敵国」への先制攻撃を行なうことのできる軍事強国へと飛躍させるために、軍事技術開発を産官学一体でおしすすめる体制がつくられようとしていることです。岸田政権は、「敵国」への先制攻撃に使用するミサイルや無人機などの軍事技術の開発を、政府・防衛省の統括のもとに大学・研究機関・企業を総動員して行なう体制をつくることや、軍事研究に積極的な大学への財政支援強化策を「安保三文書」に盛り込もうとしています。大学・研究機関を日本の軍事強国化のための軍事研究に動員することに強く反対しましょう！

この政権は、上の内容を記した「安保三文書」を国会審議をおこなうことなく閣議決定でもって制定しようとしているのです。とんでもありません！

日本を軍事強国化し、アメリカのように「敵国」に先制攻撃できる国家へとつくりかえることを許すならば、日本がふたたびアジアや世界に戦火をもたらすことになりかねません。みなさん！ いまほど改憲反対！ 大軍拡反対！ の声をあげることが大切な時はありません！ サークル活動をつうじて学問研究や表現・芸術活動に携わる私たちは、こうした活動の大前提である平和主義や言論・表現の自由を否定する政府の戦争政策に反対する文化人や学者の方々と連帯して声をあげ行動しようではありませんか。

(2022年12月8日)

\*「とめよう！改憲 文連の会」は文連の呼びかけにこたえてサークルから有志が集まって結成し、岸田政権による憲法改悪を阻止するための活動にとりこんでいます。

私たちの呼びかけに賛同してくれる方は、ぜひメッセージをお願いします。一緒に考え・行動してくれる方も大募集中です（右のQRコードから読み込んでください）。



とめよう！改憲 文連の会（代表・神原（教4）／090-2331-4456）